

尊光寺報

第147号
令和8年9月

徳島県阿波市市場
町大野島字天神41
尊光寺

住職継職法要は

五月一日に、門信徒総会とともに

お稚児さん大募集

やつと、住職（代表役員）交代の登記が完了しました。
今後、本山での住職補任式、住職継職法要と準備が続いて参ります。ご門徒の皆さまにもご協力をいただき、継職法要の準備を進めて参りますので、ご参加、ご参列下さいませ。
法要は、5月1日、

9時より、門信徒総会

10時から、雅楽のなかで稚児行列

10時半より、法要（正信偈のお勤めを中心に）

11時過ぎより、記念法話

12時頃、会食、散会 を予定します。

お稚児さんは、仏さまのそばに集い、尊い恵みの中で育つようにとの願いから、かわいい稚児衣装を着て法要に参加する子どものことです。0才から150cmくらいまでのお子さまに、是非ともお声がけ下さい。①お子さまのお名前、②年齢、③性別、④身長、⑤保護者同伴者のお名前と連絡先を、お寺までお知らせ下さい。お申し込みは4月1日まで。お檀家に限らず、どなたさまでも、ご縁のあるお子さまにご参加頂けます。小さな子はだつてもかまいません。参加費（衣装代）は7000円。お申し込みをお待ちしております。



サンプルとして息子の燈樹（3才・90cm・男児）に稚児衣装を着せましたが、烏帽子を嫌がりますし、走って着崩れたりもします。それもご愛敬。どうぞ楽な気持ちでご参加下さい！

法要・行事のご案内

◎秋の彼岸会永代経法要

【9月23日（水・祝）】 午後1時より法要・法話

【9月24日（木）】 午後1時より法要・法話

※24日は仏教婦人会お接待を兼ねます。会食は11時半より、準備お手伝いは9時頃よりお願い致します。

両日とも、どなた様もお気軽に御参りください。

法話講師：津守秀憲師

（本願寺派布教使・神戸市徳本寺）

お彼岸とは、さどりの岸、阿弥陀さまの極楽浄土のことです。お念仏を申し先立つた方々を偲び、この私も同じ念仏に出会い浄土へ参る人生を送っていることに思いを寄せましょう。

ご講師の津守師ははじめての御越しです。副住職とは、ご本山の勉強会とともに学ばせて頂いたり、皆さまとは、大谷本廟のご法話のご縁で会ったことあるお方です。若手の布教使さんで、あたたかく仏さまのお慈悲を伝えて下さいます。どなたさまも、お繰合せ、お誘い合わせ、御参りください。お待ちしております。

◎宗祖親鸞聖人報恩講法要

【12月19日（土）】

午後1時より 法要・法話

午後5時より お斎（夕食）

午後6時より 大連夜法要・御伝鈔拝読・法話

【12月20日（日）】

午前10時より 門徒総永代経法要・法話

お昼 お斎（食事）

午後1時より 報恩講ご満座法要・御伝鈔拝読・法話

報恩講は宗祖親鸞聖人のご命日を縁として、その遺徳を偲び、お念仏のお救いがこの私まで届いていることを喜ばせていただく法要で、浄土真宗門徒にとって最も大切な法要です。また、20日の門徒総永代経では一年間にご往生されたご門徒の皆さまのお名前・法名を読み上げます。どうぞ有縁の皆さまお揃いでお参りください。

20日のお斎（食事）はお当番の皆さまによつて準備されますので、どなた様もお食事におつきください。予約などは不要です。

す。皆さまのお参りをお待ちしております。
※本年の報恩講お当番は、土成西組（出口・郡・秋月・水田・成当・翫城地）です。よろしくお願い致します。

法話講師：川上順之 師

（本願寺派布教使・広島県神石高原町法泉寺）

ご講師の川上師は、数年来の御越しです。爽やかなイケメンご住職です。

親しみやすく聞きやすい仏さまのお話を熱く語って下さいます。どうぞどなた様もお参りください。

◎除夜の鐘 修正会

【12月31日】 午後11時35分頃より

行く年来る年をお念仏とともに。どなた様も除夜の鐘をつくことができます。また本堂では年明けとともに御勤めがあります。どうぞお参りください。

尊光寺のLINEを作ってみました

これまで、ホームページやフェイスブック、Instagram、YouTubeをつくり、それぞれコンテンツを配信しています。

新たに公式LINEを作ってみました。LINEは気軽にメッセージを直接やりとりすることができます。お友達登録している人にはお寺から一斉送信ができ、個別の返信は他の人にも内容を知られることはありません。

こちらからの返信には、電話に比べると時間がかかりますが、仏事相談などもお受けできればと考えています。今後どのように活用するか模索中ですが、ぜひぜひ、お友達登録してください！お待ちしております！

スマートフォンでのLINEアプリ、またはカメラアプリで下のコードを読み取ってください。



ホームページ、フェイスブック、Instagram、YouTubeも公開中ですので、ご覧下さい。「尊光寺」「尊光寺 徳島」などで検索して下さい。ホームページとYouTubeには「正信偈」のお勤め動画などを載せていますので、引き続きご活用下さい。

得至蓮華蔵世界 即証真如法性身
遊煩惱林現神通 入生死藺示応化

【訓読】 蓮華蔵世界に至ることを得れば、
すなはち真如法性の身を証せしむと。

煩惱の林に遊んで神通を現じ、
生死の園に入りて応化を示すといへり。

【現代語訳】 阿弥陀仏の浄土に往生すれば、
ただちに真如をさとつた身となり、

さらに迷いの世界に還り、神通力をあらわして、
自在に衆生を救うことができると、述べられた

前回は、前半二句の「得至蓮華蔵世界 即証真如法性身」の部分でした。南無阿弥陀仏の念仏に出会った者は、
いのちの尽きる時、速やかに浄土に生まれ、ただちに真実のさとりをひらいて仏に成るというお話でした。

今回は、後半二句の「遊煩惱林現神通 入生死藺示応化」に入ります。

「遊」とは、「遊戯」のこと。「ゆうぎ」と読まず、仏教読みでは「ゆげ」と読みます。執着がない、とらわれがないことを表す言葉です。「遊行」「遊化」というときに使う「遊」と同じ意味で、自由自在にという意味があります。

「煩惱林」とは私たちがいるこの娑婆世界をいいます。煩惱に振り回されて迷っている様を表すようです。

煩惱に迷うならば、「林」よりも木の多い「森」の方が表現として良さそうな気がします。成り立ちを調べてみると、「森」は自然に木が生い茂つてできたものをいい、「林」は人が手を加えてきたものをいうようです。「防風林」「雑木林」などがその「林」の使い方です。ここで「煩惱の林」と表現されたのも、人がわざわざ手を加えたその中で煩惱に頭をぶつけてもがいている様を表したのでしょう。どうにせよ、煩惱の旺盛な姿を「煩惱林」と表現したようです。

「現神通」とは、「神通を現わす」と読みます。「神通」とは、神通力のこと、自由自在で不可思議な力のこと、仏さまが

私たちを教化し導く力を言います。

具体的には六神通といい、①神足通（行きたい所に自由に現われることができる能力）、②天眼通（世間のすべてを見通す力。また、衆生の未来を予知する能力）、③天耳通（世間一切の苦楽の言葉、遠近の一切の音を聞くことができる能力）、④他心通（他人の考えていることを知る能力）、⑤宿命通（自己や他人の過去のありさまを知る能力）、⑥漏尽通（煩惱を滅尽させる智慧）の六つを言うようです。特に⑥の漏尽通は仏さまのみが持つ力で、さとの智慧のはたらきで私たちを導く力をいいます。

まとめますと、「遊煩惱林現神通」とは、浄土に往き生まれ、仏となった方が、私たちの迷う煩惱の林の中に仏さまとなつて還つてきて、様々な縁でもつて私たちを仏の教えに導いて下さる、という一句なのです。

念仏に出会った人は、あちらの世界、浄土に行つたきりでは決してなく、この娑婆に残されたこの私を導くために、仏のはたらきとして還つてきて下さると言うことです。考えてみますと、先だつた方がいなければ、この私が念仏に出会うことは無かつたのですし、この両手が合わさることも、この口から念仏が出ることも無かつたのです。言い換えますと、この手が合わさるところに、仏さまになつて還つてきて、一緒にこの人生を歩んで下さっているのです。そこには、いのち終わつてそれでお別れではなく、また来ます、また会いましょうと、手を合わせてゆける世界が開かれるのです。

次の句の「生死の園に入りて応化を示す」も、同じような意味です。「応化」とは、相手に応じて姿を変えて現れると言うことです。さとの智慧の眼を持たない私たちは生まれ代わり死に代わりを繰り返してきた闇の中にいます。その中に仏となつた方が還つてきて救いの活動をなさると言うことです。

令和8年 年忌表

令和8年の法事と亡くなった年

1周忌	令和 7(2025)年
3回忌	令和 6(2024)年
7回忌	令和 2(2020)年
13回忌	平成26(2014)年
17回忌	平成22(2010)年
25回忌	平成14(2002)年
33回忌	平成 6(1994)年
50回忌	昭和52(1977)年
61回忌	昭和41(1966)年
100回忌	昭和 2(1927)年
150回忌	明治10(1877)年
200回忌	文政10(1827)年
250回忌	安永 6(1777)年
300回忌	享保12(1727)年

過去帳やお位牌をご覧ください。

令和9年 年忌表

令和9年の法事と亡くなった年

1周忌	令和 8(2026)年
3回忌	令和 7(2025)年
7回忌	令和 3(2021)年
13回忌	平成27(2015)年
17回忌	平成23(2011)年
25回忌	平成15(2003)年
33回忌	平成 7(1995)年
50回忌	昭和53(1978)年
61回忌	昭和42(1967)年
100回忌	昭和 3(1928)年
150回忌	明治11(1878)年
200回忌	文政11(1828)年
250回忌	安永 7(1778)年
300回忌	享保13(1728)年

過去帳やお位牌をご覧ください。

副住職担当、徳島新聞カルチャー教室のご案内

各講座、受講生募集中です。

■ 仏教講座『正信偈(しょうしんげ)』 ■

「きみようむりようじゆによらい」。浄土真宗で一番よく親しまれてきた「正信念仏偈」をテキストに、インドから中国、日本へと伝わった仏教の教え、念仏とは何かを一緒に学んでまいりましょう。

● 毎月第3金曜日 10時半～12時 月額 3300円

■ 親鸞聖人と『歎異抄(たんにしやう)』 ■

「悪人こそが救われる!」「歎異抄」には昔から多くの人々の心をひきつけてやまない言葉がまつています。人間らしい矛盾を抱えながら生き抜かれた親鸞聖人の言葉を丁寧に読み解きあじわつてまいりましょう。

● 毎月第2月曜日 13時半～15時 月額 3300円

【教室・申込先】

徳島新聞カルチャーセンター 徳島本校

徳島市寺島本町西1-5 アニコ東館7階

TEL 088-611-3355



そん こう じ じゅう しょく けい しょく ほう よう
尊光寺 住職継職法要

～ お稚児さん募集 ～

ち ご ほとけ つど とうと めぐみ なか そだ
お稚児さんとは、み仏さまのそばに集い、尊いお恵みの中で育つようにとの願いから、
ち ご いしょう
かわいい稚児衣装を着て、法要に参加する子どものことです。

尊光寺の境内前をあるいて本堂まで稚児行列を行います。

めったに無いご縁です。お子さんやお孫さんに、是非お声がけ下さい。

一緒に手を繋いでお参りいたしましょう。どなたさまでもご参加をお待ちしています。

【日時】 2027年5月1日、10:00～^{が かく}雅楽の演奏と共に稚児行列

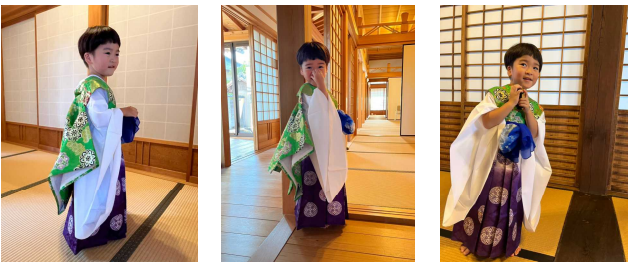
【受付・集合】 9:20頃より～着替えを完了して9:50集合

【対象】 0歳児～150cmくらいまでのお子さま（衣装の都合により150cm以上はご相談）

【参加費】 7000円（衣装レンタル代（冠・上衣・袴・白衣・帯）、お念珠、記念品）

【持ち物】 白い靴下（たびの代わり）、安全ピン6つ程度、髪留め

※4/29と4/30に衣装を事前にお渡しします。ご家庭で写真を撮ったり、着付けの練習をしたりできます。当日はご家庭から着てきてもお寺で着替えてもかまいません。



サンプルとして息子（3才）に着せましたが、烏帽子をかぶるのを嫌がります。また動き回って着崩れたりもしますが、ご愛敬です。どうぞ気楽にご参加下さい。お申し込みをお待ちしております。

【申し込み】※4/1までにお申し込みください！



ふりがな

- ・お子さまのお名前 _____
- ・年齢・性別・身長 _____ 才・男子/女子・ _____ cm
- ・保護者同伴者のお名前 _____
- ・保護者同伴者の連絡先 _____

女の子は赤にかんむり・男の子は緑に烏帽子になります。

申し込み⇒尊光寺 (0883-36-3026)
住職直通LINEでも受け付けてます⇒

尊光寺：阿波市市場町大野島字天神41



秋の彼岸会永代経法要

2026

9月23日（水曜・秋分の日）
24日（木曜）

両日とも午後1時より お勤めと法話

※ 24日は、仏教婦人会によるお接待・会食です。

食事は11時半より。準備お手伝いは9時頃よりお願いいたします。

お彼岸とは、さとり彼岸、阿弥陀さまの極楽浄土です。お念仏を申し先立つた方々を思うとともに、この私も同じ念仏に出会い同じ浄土へ参ることを聞かせていただきましょう。

どなたさまもお参りください。お待ちしております。

法話講師

津守 秀憲 師

（本願寺派布教使、輔教、神戸市徳本寺）

さわやかな布教使さんです。本山の学習会でも住職とともに学ぶ若手のホープです。



2026(令和8)年 尊光寺行事予定(下半期)

9月23日(水・祝) 午後 1時 秋の彼岸会永代経法要

9月24日(木) 午後 1時 秋の彼岸会永代経法要

※24日は仏教婦人会によるお接待・会食です。

11時半より食事。準備お手伝いくださる方は9時頃よりお願いいたします。

11月20日(金) 午前 9時 おみがき(仏具磨き)

12月 1日(火) 午前 9時 お内仏報恩講法要

12月14日(月) 午前 8時半 お餅つき

12月15日(火) 午前 9時 お荘厳(おかざり)

報恩講法要に向けた準備日程です。お昼過ぎ終了の目標です。

皆さまのお力添えを宜しくお願い致します。

お手伝い衆・仏教婦人会会員を募集しております。

12月19日(土) 午後 1時 報恩講法要・法話

午後 5時 お斎(食事)

午後 6時 報恩講大逮夜・御伝鈔拝読・法話

12月20日(日) 午前10時 総永代経法要・法話

午前11時半 お斎(食事)接待

午後 1時 報恩講ご満座法要

・御伝鈔拝読・法話

※本年のお当番は土成西組です。宜しくお願い致します。
土成西組は、出口・郡・秋月・水田・成当・翫城地です。

12月31日 午後11時40分 除夜会(除夜の鐘)

1月 1日 午前 0時 修正会

どの行事もご参加をお待ちしております。